



## SDGsアクション in しが

## 《角井優斗 - 近江楽座・政所茶レン茶"ー》

# “ 幻の銘茶 ” 政所茶と 彼には共通の魅力がある。



「人口減少で存続が危ぶまれている政所茶を広めていきたい。」と話す角井さん。  
取り組んでいる活動を一番反映するSDGsの番号は11「住み続けられるまちづくりを」だ。

## 数百年続く伝統あるお茶をより多くの人に

さっぱりとして親しみやすい大学生、それが滋賀県立大学に通う角井優斗さんに持った最初の印象であった。角井さんは、地域活性化を目指す学生を主体とした団体「近江楽座」に在籍し、三重県との県境に近い奥永源寺の特産品「政所茶」を通して地域へ貢献している。

きっかけは大学での合同説明会。「自然がいっぱいあるし、それになんとか人がおもしろそうだから入りました。」と軽やかに答える。それが今ではもう3年近くも茶づくりに携わっている。無農薬・無化学肥料で栽培されるため、夏は草刈り、冬は落ち葉まきなど大変な手作業も多い。「品種改良しておらず一本一本に個性がある。すっきりした中に感じる野性味が良いんですね。」と魅力を語る角井さんからは、長く携わってきた政所茶への深い愛がじわじわと伝わってくる。活動の目標を尋ねると「いつか政所茶を直接西川さんに渡したい。」と即答。なにを隠そう角井さんはT.M.Revolution西川貴教さんの大ファンなのだ。その情熱で去年はついにイナズマロックフェスの会場で政所茶の試飲・販売を行った。チームに溶け込みながらも自分のこだわりも活かすその姿勢は、政所茶の持つ魅力と重なってくる。



政所町の茶畑。まん丸としたお茶の木がたくさん植わっている。

